

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成21年11月26日(2009.11.26)

【公開番号】特開2009-233409(P2009-233409A)
 【公開日】平成21年10月15日(2009.10.15)
 【年通号数】公開・登録公報2009-041
 【出願番号】特願2009-170611(P2009-170611)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年8月18日(2009.8.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球の入球が可能な始動口と、

前記始動口への遊技球の入球に基づいて、大当たりについての判定処理を行う大当たり判定手段と、

前記大当たり判定手段による判定処理の結果が大当たりであることに基づいて、賞球が払い出されうる大当たり処理を実行する大当たり処理実行手段と、

前記大当たり判定手段による判定処理の結果が大当たりであるとき、当該大当たりが確変大当たりであるか否かについての判断処理を行うとともに、該確変大当たりである旨判断されたことに基づいて前記大当たりの当選確率をより高い確率に変更可能な確率変更制御手段と、

複数の画像図柄、及びそれら画像図柄とは異なる演出画像がそれぞれ所定の表示画面にて現れるように制御する表示制御手段と、を備え、

前記表示制御手段は、

前記大当たり判定手段による大当たりについての判定処理と、前記確率変更制御手段による確変大当たりであるか否かについての判断処理とがそれぞれ行われることに基づいて、それら処理の結果が示唆されるように前記所定の表示画面にて現れる複数の画像図柄についての変動表示にかかる表示制御を行う図柄制御手段、及び

前記大当たり判定手段による大当たりについての判定処理と、前記確率変更制御手段による確変大当たりであるか否かについての判断処理とがそれぞれ行われていない状況においても特定の演出画像が表示されるようにする特定表示制御手段

を有し、

前記図柄制御手段は、

前記特定表示制御手段により前記特定の演出画像が現れている期間中に前記複数の画像図柄についての変動表示が開始された場合は、前記確変大当たりが当選されていない限りは前記確変大当たりに関連した図柄によるリーチ状態が形成されないように前記複数の画像図柄についての変動表示にかかる表示制御を行うことによって、前記特定の演出画像が現れている期間中に前記確変大当たりに関連した図柄がリーチ状態を形成したときにはその時点で前記確変大当たりが当選されていることが確定されるようにすることで、前記特

定の演出画像が前記確変大当たりに関連した演出として機能しうるようにしたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記大当たり判定手段は、前記始動口への遊技球の入球に基づいて乱数を取得し、該取得した乱数に基づいて前記大当たりについての判定処理を行うものである

請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記特定表示制御手段は、所定のタイミングで乱数を取得し、この取得した乱数が処理の値となる場合に前記特定の演出画像が表示されるようにするものである

請求項 1 または 2 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

請求項 1 に記載の遊技機は、遊技球の入球が可能な始動口と、前記始動口への遊技球の入球に基づいて、大当たりについての判定処理を行う大当たり判定手段と、前記大当たり判定手段による判定処理の結果が大当たりであることに基づいて、賞球が払い出されうる大当たり処理を実行する大当たり処理実行手段と、前記大当たり判定手段による判定処理の結果が大当たりであるとき、当該大当たりが確変大当たりであるか否かについての判断処理を行うとともに、該確変大当たりである旨判断されたことに基づいて前記大当たりの当選確率をより高い確率に変更可能な確率変更制御手段と、複数の画像図柄、及びそれら画像図柄とは異なる演出画像がそれぞれ所定の表示画面にて現れるように制御する表示制御手段と、を備え、前記表示制御手段は、前記大当たり判定手段による大当たりについての判定処理と、前記確率変更制御手段による確変大当たりであるか否かについての判断処理とがそれぞれ行われることに基づいて、それら処理の結果が示唆されるように前記所定の表示画面にて現れる複数の画像図柄についての変動表示にかかる表示制御を行う図柄制御手段、及び前記大当たり判定手段による大当たりについての判定処理と、前記確率変更制御手段による確変大当たりであるか否かについての判断処理とがそれぞれ行われていない状況においても特定の演出画像が表示されるようにする特定表示制御手段を有し、前記図柄制御手段は、前記特定表示制御手段により前記特定の演出画像が現れている期間中に前記複数の画像図柄についての変動表示が開始された場合は、前記確変大当たりが当選されていない限りは前記確変大当たりに関連した図柄によるリーチ状態が形成されないように前記複数の画像図柄についての変動表示にかかる表示制御を行うことによって、前記特定の演出画像が現れている期間中に前記確変大当たりに関連した図柄がリーチ状態を形成したときにはその時点で前記確変大当たりが当選されていることが確定されるようにすることで、前記特定の演出画像が前記確変大当たりに関連した演出として機能しうるようにしたことを要旨とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

請求項 1 に記載の遊技機において、請求項 2 に記載の遊技機は、前記大当たり判定手段は、前記始動口への遊技球の入球に基づいて乱数を取得し、該取得した乱数に基づいて前記大当たりについての判定処理を行うものであることを要旨とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

請求項 1 または 2 に記載の遊技機において、請求項 3 に記載の遊技機は、前記特定表示制御手段は、所定のタイミングで乱数を取得し、この取得した乱数が処理の値となる場合に前記特定の演出画像が表示されるようにするものであることを要旨とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 9

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 1

【補正方法】 削除

【補正の内容】